

フィルムコミッションは、市内でロケを行う際の相談窓口となり、映像作品の制作がスムーズに進むよう、必要な情報提供やロケ地の受け入れ調整などの協力を無償で行います。また、撮影が終了した後も、プロモーション活動の支援を通じ、ロケ地巡りなどの誘客に取り組んでいます（右下参照）。

フィルムコミッションの役割

フィルムコミッションとは、映画やドラマなどのロケーション撮影（ロケ）を誘致し、映像作品の制作を支援する組織のことです。ロケを受け入れることで、撮影スタッフの宿泊や飲食などによる経済効果のほか、映像作品に地域の風景や魅力が映し出されることで持続的な誘客につながり、地域の活性化や観光振興に大きな役割を果たしています。



県もフィルムコミッションを推進しています



ぐんまフィルムコミッション 阿久澤 広樹さん

ぐんまフィルムコミッションは、平成25年に設立され、より一層ロケ誘致を進めていくため、令和2年から県ロケ誘致推進室が所管しています。

ぐんまフィルムコミッションでは、地域のフィルムコミッションと連携しながら、映画やドラマなどの

ロケ地の提案や調整を行うほか、県庁をはじめとする県有施設での撮影支援を行っています。近年では「スパイの妻〈劇場版〉」や Netflix 映画「桜のような僕の恋人」などの作品の制作を支援しました。

また、県内へ作品を誘致するため、専用サイトで県内の430件を超えるロケ地の紹介や撮影支援事業者の情報を掲載しているほか、若手クリエイターが制作したロケ地紹介（プロモーション）動画を公開しています。

今後は、県内からさまざまな映像作品が創出される、「映像クリエイティブ拠点化」を目指し、フィルムコミッションによる撮影支援を、より一層強化していきます。



多くのロケに使われる 県庁と昭和田舎



▲ロケ地紹介動画



撮影支援の流れ

#1 ロケ地の相談



制作会社などから撮影相談を受け、ロケ地を提案します。

#2 ロケハン（下見）



要望に応じて、ロケ地の下見に同行します。

#3 撮影



撮影内容や利用施設に応じて撮影の立ち会いを行います。

#4 プロモーション支援



撮影された作品の公開情報をホームページやSNSでお知らせします。



フィルムコミッションのススメ

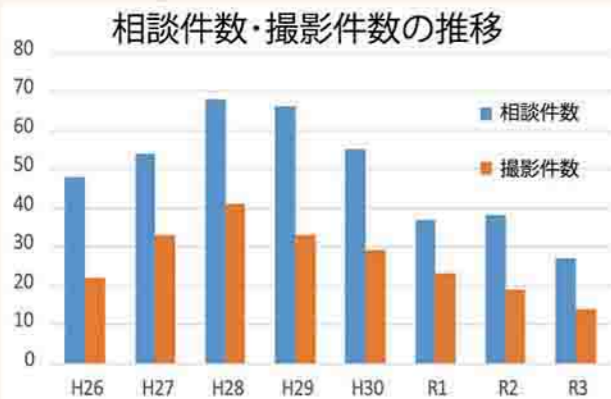


市は、平成26年に「渋川伊香保温泉フィルムコミッション」を設立し、市の魅力発信の手段として、撮影地の紹介などを通じ、これまでに多くの映像作品の制作支援を行ってきました。

今回は、市が取り組んでいるフィルムコミッションの活動について紹介します。詳しくは、[困秘書室 \(TEL@2182\)](mailto:sek@2182) へ。

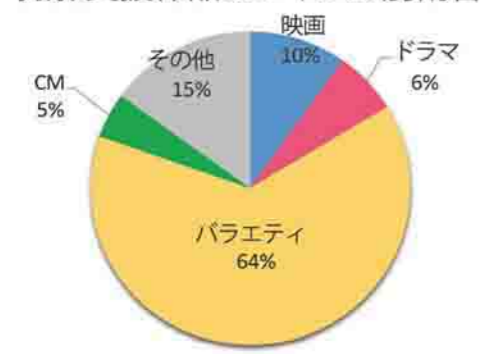


## 市内でのロケ支援実績



新型コロナの影響もあり、近年は相談件数が減少傾向にあります。相談が撮影に至る割合は、5割前後となっています。

### 撮影支援作品のジャンル別割合



ジャンル別撮影支援の割合は、伊香保温泉での旅ロケを中心としたバラエティ番組が多い状況です。旅番組も大きな宣伝効果があります。

### ロケ地の分類別割合



バラエティの撮影が多いため、伊香保温泉でのロケが半数を占めます。施設では旧渋川総合病院の3階が使われることが多く、赤城自然園や公園など自然豊かな場所でもロケが行われています。

### ④ 渋川スカイランドパーク



〈支援作品〉水曜日のダウンタウン (2021)  
 〈出演者〉陣内智則さん、坂下千里子さんほか

### ⑤ 渋川駅前プラザ



〈支援作品〉ドラマ「恋なんて、本気でやってどうするの？」(2022)  
 〈主演〉広瀬アリスさん

### ⑥ JR 祖母島駅



〈支援作品〉映画「99.9- 刑事専門弁護士 -THE MOVIE」(2021)  
 〈主演〉松本潤さん

### ⑦ ブートキャンプ伊香保



〈支援作品〉ロンドンハーツ 2時間スペシャル (2022)  
 〈出演者〉モグライダー

### ② 伊香保温泉石段街



〈支援作品〉映画「ある男」(2022)  
 〈主演〉妻夫木聡さん

射的大坂屋 店主  
 中里 登代子さん



テレビで見たと言ってくるお客さんも多いので、反響は大きいです。伊香保の宣伝になるので、これからも撮影が来れば大いに協力したいと思います。

### ① 赤城自然園 (未公開エリア)



〈支援作品〉NHK 大河ドラマ「青天を衝(つ)け」(2021)  
 〈主演〉吉沢亮さん

赤城自然園 総支配人  
 内山 純一さん



大河のロケ地となったことは光栄で、放送後にロケ地を見たいというお問い合わせを多くいただきました。今後も赤城自然園の魅力が伝わるロケを受け入れていきたいです。



### ③ 渋川すこやかプラザ (旧渋川総合病院3階)



〈支援作品〉映画「夏への扉」(2021)  
 〈主演〉山崎賢人さん

## しぶかわロケ地マップ

情緒ある石段街や自然豊かなロケーションは、多くの作品のロケ地として使われています。ここでは、この2年間でロケを行った主なロケ地と、そこで撮影を行った作品の一部を紹介します。



## 映画監督 飯塚 健さんの「フィルムコミッションのススメ」



〈PROFILE〉1979年渋川市生まれ  
代表作に「荒川アンダーザブリッジ」シリーズ  
(2012)、「榎田貿易堂」(2018)、「ステップ」  
(2020)、「ヒノマルソウル」(2021) など

「榎田貿易堂」は、渋川清彦さんとロケ地探しから始めて、ゼロから手作りした映画です。ロケ地を考える前に、渋川で過ごした頃の記憶が残像となって浮かんでいました。

映画「榎田貿易堂」への思いについて教えてください

まず、伊香保を知らない人はほとんどいないと思うので、映像になったときに場所がピンとくるのが大きいと思います。  
また、街の向こうに山の稜線がくつきり見えるそば畑や、田んぼの中にたたずむ祖母島駅、歩道のすぐそばを電車が走る第一吾妻川橋梁など、渋川にしかない面白い場所がたくさんあると思います。

本市のロケ地としての魅力はどんなところですか？

市民の皆さんにどのようなことを望みますか？  
撮影は、1つのシーンごとに撮影し、カメラアングルを変えて撮るといったことを繰り返すので、時間がかかってしまいます。施設や道路を長時間にわたって借りることで迷惑をおかけすることもありますが、ご理解をいただきたいと思っています。  
また、地元の学生が、セットの飾り付けなどにボランティア参加できる機会があると思います。映像の世界に興味がある学生もいると思うので、今後の進路を考える上で大きな経験になると思います。

映画監督として実績を重ねないと地元に戻れないと思っていたので、それが実現したことは大きな財産であり、地元の方々の温かみに触れながら撮影することができました。  
本市のフィルムコミッションに期待することはありますか？  
ロケ地の物件が選べるくらいたくさんあると思います。  
また、地方ロケではエキストラの確保が課題なので、渋川市でもエキストラを登録して地元の人たちを集められたらいいと思いますし、監督としても地元の方々の力を借りるだけ画面に写したいと思っています。

## ロケ地・エキストラの登録を募集します

市は、より多くのロケ地を確保し、制作者の希望に合った場所を提供することにより、ロケの件数を増やすため、ロケ地として協力いただける場所を募集します。また、ロケの際にエキストラとして出演協力いただける人を募集します。

右の各2次元コードから募集条件等を確認の上、応募フォームに必要事項などを入力し、送信してください。



### 〈ロケ地の募集〉

**募集対象** 住宅、事務所、飲食店、小売店、工場、倉庫、神社仏閣、田畑、採石場など  
**募集条件** ▷所在地が渋川市内であること  
▷応募者が所有者または管理責任者であること(その他にも条件があります)



ロケ地応募ページ▲

### 〈エキストラの募集〉

**募集対象** どなたでも(18歳未満の人は保護者の承諾、15歳未満の人は原則保護者の同伴が必要です)  
**募集条件** ▷無償で協力いただけること  
▷撮影現場で知った情報はインターネット掲示板やSNSなどに書き込まないこと(その他にも条件があります)



エキストラ▲応募ページ

## 本市がロケ地となった注目の映画を紹介します



### 『ある男』全国の映画館で11月18日から公開中!

芥川賞作家・平野啓一郎さんのベストセラー小説『ある男』を映画化。数々の映画賞を受賞し、国内外で高い評価を得る石川慶監督がメガホンを取り、人間存在の根源を描く重厚な原作から、感動のヒューマンミステリーが誕生しました。

この作品では、亡くなった男の身元調査のため、主人公の弁護士・城戸が伊香保温泉を訪れる描写があり、石段街、お宿玉樹、スナック右京の3カ所をロケ地として、2021年2月にロケが行われました。

なお、この作品は、第79回ベネチア国際映画祭に出品されたほか、第27回釜山国際映画祭のクロージング作品としても上映され、映画を通じて伊香保温泉を国内外に広く発信することができました。ぜひ、映画館でご覧ください。

〈出演者〉妻夫木聡さん、眞島秀和さん、清野菜名さんほか



お宿玉樹の中でのワンシーン

## 渋川への思いあふれる映画『榎田貿易堂』

〈出演者〉渋川清彦さん、伊藤沙莉さん、森岡龍さん、滝藤賢一さん、余貴美子さんほか



2018年6月に劇場公開された本作は、ともに本市出身・渋川高校卒業生である飯塚健監督と渋川清彦さんがタッグを組んだ初作品。伊香保温泉や行幸田そば畑のほか、市内各所の店舗や道路などで撮影が行われました。

主人公が営むリサイクルショップ「榎田貿易堂」を舞台に、人生の再スタートを切る人々の人間関係をコミカルに描くヒューマンコメディです。

### 主演俳優 渋川 清彦さんに聞く ロケ地としての渋川市の魅力

「都内から2時間くらいで行ける距離に、赤城山や榛名山の麓なら、自然豊かな素晴らしい地形、全国的にも名の知れた伊香保の風情ある温泉地、何より、人が協力し、魅力的なところがあります。」



〈PROFILE〉1974年渋川市生まれ  
日本のまんなかしづかわ応援大使  
映画「キングダム2 遙かなる大地へ」(2022)、ドラマ「ザ・タクシー飯店(主演)」(2022) など出演作品多数